

# Press Release

令和8年5月26日

## 文部科学省エントランス「情報ひろば」の昭和100年関連施策で 瀬戸内国際芸術祭で脚光を浴びた「瀬戸内の伝統生活文化・芸術発信プロジェクト」 の特別展示を実施

このたび香川大学は、文部科学省エントランス「情報ひろば」において、昭和100年関連施策として「瀬戸内の伝統生活文化・芸術発信プロジェクト」特別展示を開催いたします。

本展示では、昭和時代まで生活の中で歌われてきた「瀬戸内仕事歌」や、「地域の歴史を題材としたオペラ作品」など、瀬戸内に根付く生活文化と芸術の歩みを紹介します。

「瀬戸内国際芸術祭 2022」「瀬戸内国際芸術祭 2025」における香川大学作品「瀬戸内の伝統生活文化・芸術発信プロジェクト」では、昭和時代まで続いた「瀬戸内仕事歌（浜曳き唄、石切り唄他）」、「四国最古の民話オペラ『二人奥方』（昭和40年制作）」、「～瀬戸内源平合戦絵巻～オペラ『扇的的』ダイジェスト版」を、音楽を通して再生・共有・発信してきました。

今回の展示では、これらの関連資料（パネル・衣装・小道具・動画等）を公開し、昭和100年を迎える今、地域の記憶と未来の文化創造をつなぐ機会を提供します。

仕事歌は、昭和時代まで人々の暮らしの中で実際に歌われていた、地域文化・音楽の原点ともいえるものです。一方、オペラは、音楽に演劇や美術など多様な文化芸術を融合させ、総合芸術へと発展した形態です。昭和100年という節目にあたり、“生活の音”である仕事歌と、“芸術の音”であるオペラの両面から歴史を振り返ることで、現代の環境問題や地域社会の変化・音楽文化の変遷を考える手がかりとなり、未来をひらく視点を得る機会にもつながります。

今回の展示を通じて、先人たちへの敬意を育み、未来に向けた新たな芸術文化が芽生えることを願っております。

### 【特別展示の概要】

テーマ：瀬戸内の記憶が響き、未来をひらく—瀬戸内の伝統生活文化・芸術発信プロジェクト—

期間：令和8年5月26日（火曜日）～ 令和8年7月3日（金曜日）

場所：文部科学省 新庁舎（東館）2階エントランス

<https://www.mext.go.jp/joho-hiroba/access/index.htm>

開催時間：午前10時～午後6時（入館は閉館の30分前まで、土・日・祝日は休館）

主な展示物：

- ・ 衣装（十二単）、鎧（平敦盛）、模造刀（舞台使用）、小道具各種
- ・ 瀬戸内国際芸術祭作品メイキング動画
- ・ 瀬戸内仕事歌及びオペラ2作品の解説パネル
- ・ 瀬戸内国際芸術祭 2025 香川大学参加報告書

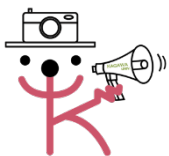
（裏面へ続く）



(文部科学省新館前から)



(文部科学省展示全体)



取材申込はこちらから↓



➤ お問い合わせ先  
 香川大学地域創生推進部地域連携推進課 石田  
 TEL : 087-832-1631  
 E-mail : ishida.kazuichi@kagawa-u.ac.jp